

「折り紙教室で日本文化を学んで…」

外国語学部 中国語学科 4年 市川 桃子



折り紙講師中先生から折り紙の折り方などの説明を受けている様子。
正しい折り紙の基礎となる折り方を最初に学びました。

日本の伝統文化の一つでもある折り紙ですが、海外でも「origami」という言葉が通用します。
日本の伝統折り紙は多くの種類がありますが、折り方を知っていれば、異文化交流をするきっかけの一つになるのではないかと思います。
折り紙教室を通して、日本文化の理解を深めることができました。
折り紙講師 中一隆さんから分かりやすく丁寧に指導していただきながら、折り紙の知識が増えました。そして、もの作りの楽しさを感じることが出来ました。

中先生は「折り紙のバラとくすだま（日本ヴォーグ社）」などを出版されています。ポスターの写真にも使用させていただいたバラの作品はとても素敵です。今回はバラの作品を学びました。
折り紙教室では3つの作品について指導していただきました。
日本の伝統的な「鶴」と折り紙講師、中先生の作品の「ねじり折りバラ」。夏の季節にぴったりの「ひまわり」を折りました。



折り紙講師中先生の折り紙のバラの作品や本を展示している様子。飾ると華やかになります。難しいですが、皆さんも挑戦してみてもいい？

「鶴」を折ったことがある人は多いと思いますが、正式な折り方があるのは知っているでしょうか。間違った折り方をしていたら要注意です。
「ねじり折りバラ」は比較的簡単と言われているものの、難しいと感じました。
「ひまわり」は、つぼみから花が咲く様子は可愛い作品でした。
参加者の方から感想を伺いました。
「難しいが、作り終わって楽しいと感じた。」



今回、「鶴」「ねじり折りバラ」「ひまわり」の作品3つを2時間の講習で学んだ



参加者がわからないところを質問し、講師の方から直接指導を受けている様子。熱心に取り組んでいました。



参加者同士お互いに教えあっている様子。一人で折るよりも何人かで折る方が楽しさはますのではないのでしょうか。

「全然折り紙を折ったことがなかったが、丁寧に先生に教えてもらい、出来た自分に驚いた。」
 「趣味で折り紙を折っていたが、レパートリーが増えた。」
 「折り紙の価値観が変わった。紙一枚でもの作りができる」と理解した。」
 私は折り紙を折ることが好きですが、恥ずかしながら伝統的な鶴の折り方を今まで間違えていました。講師の方に分かりやすく指導していただき、素敵な作品が出来ました。
 これを機に様々な折り紙に挑戦していきたいです。皆さんもよかつたら折り紙を折ってみてくださいね。

つる（伝承作品）の折り方

